

令和8年度

施政方針

©4380

市議会3月定例会で瀧澤市長が施政方針演説を行いました。今号ではその概要をお知らせします。

詳細は市ホームページや市役所2階行政情報コーナーでご覧いただけます。

問合 政策企画課 ☎ 754・6213

多様化・複雑化する社会課題へ

果敢に立ち向かうとともに、

市民の皆さまのお声を

しっかりと聴き、力を合わせ、

本市が誇れるまちとなるよう

全力を尽くしてまいります。

池田市長 瀧澤 智子

重点テーマ

I

教育・子育て支援や日々の暮らしにかかわる取り組みの充実など、若い世代の転入とその後の定住につながる施策の推進



II

多様な人材の活躍や新たな官民連携事業・取り組みの創出など、地域の活力向上につながる施策の推進



価値を高め発信するまちづくり

「環境共創」のまちづくり

●再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備の導入を促進するため、各種補助制度の実施を継続するとともに、「第3次池田市環境基本計画」の中間見直しを行い、計画の進捗や目標の達成状況を踏まえ、効果的な施策について検討します。

地域特性をいかしたまちづくり

●池田駅北側エリアの回遊性と滞在快適性の向上につながる取り組みとして、コミュニティセンター跡地を活用した新たな交流スペースの整備を行い、誰もが歩きたくなくなるようなウォーカブルなまちの実現をめざします。

●伏尾台地域では、阪急バス伏尾台営業所跡地において、コンビニエンスストアとしての役割にとどまらない、さまざまな地域課題解決に向けた拠点となる施設のオープンが予定されており、この動きに合わせて、地域一帯のビジョンを描く「伏尾台地域官民連携まちづくり基本方針」を策定し、地域の活性化に取り組みます。

都市活力の維持と活性化

●細河地域でのスマート農業や農福連携を軸としたビジネスモデルの確立に努めるとともに、参画に興味のある企業に対して横展開を図るなど、さらなる普及に向けて取り組みを進めます。

●地域経済の持続的な発展を支えるため、商工業者や商店街を主体とした取り組みへの支援を推進し、にぎわい創出に取り組みます。

シティプロモーションの展開

●本市で活躍する方を紹介する「THE GOOD LIFE IKEDA インタビュー」の記事を活用し、池田への関与意欲の向上をめざすとともに、愛着を育む募集企画「池田の魅力 子どもコンテスト」を展開するなど、地域住民を巻き込んだシティプロモーションに取り組みます。

●猪名川花火大会の2年ぶりの開催に向けて、市民や市外からお越しいただく皆さんに楽しんでいただけるよう川西市と連携し準備を進めます。



子どもと大人の未来を育てるまちづくり

子ども・子育て支援の充実

●「こどもまんなか社会」の実現に向けて、子どもの権利の普及や啓発につながるワークショップを開催するとともに、子どもや若者の意見を聴く場を設けるなど、子どもの権利保障を推進する取り組みを推進します。

●ファミリーサポートセンターの援助会員への報酬を増額するとともに、利用者負担を軽減することで、会員数の増加と相互援助活動の活性化を図り、地域全体で子育てできる環境整備に努めます。

●3歳6カ月に実施する健康診査では認知されにくかった発達上の課題を早期に発見するため、新たに5歳児に対する健康診査を創設し、子ども一人一人の特性に合わせて適切に支援します。



学校教育の充実

●施設の老朽化対策とこれからの学びにふさわしい整備の一体的な推進をめざし、「池田市未来の学校づくり推進計画」に基づき、取り組みを進めます。

●国が8年度からの制度化をめざす小学校給食費の無償化に加え、これまでも独自施策として実施してきた中学校給食費の無償化を切れ目なく継続し、物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対する負担軽減を図ります。

生涯学習の推進と郷土愛の醸成

●現在休館中のくれは音楽堂の耐震補強と補修工事が完了したことに伴い、4月から利用を再開し、市民による社会教育実践の場の充実を図るとともに、万博の理念やレガシーを身近に感じていただけるように、大屋根リングの木材をステージ床として活用する整備を行います。

文化・芸術・スポーツ活動の推進

●市民文化会館の安全性の確保や機能維持のため、大ホールの改修や老朽化の著しい設備の全面更新などの大規模改修工事に向けて検討を進めます。

●社会人落語日本一決定戦や池田市美術展など、市内各地で市民が多様な文化や芸術に触れられる機会を引き続き提供します。

人権と多様性を尊重するまちづくり

- フェムケア事業として、育児や家事、介護、仕事などに追われる女性が、自身の体と向き合う機会を創出するとともに、思春期の子どもが性について学び、自身の健康やライフプランについて考える機会となるような啓発冊子を中学3年生に配布し、出前講座を実施します。
- 外国人の皆さんが安心して生活できるよう、多言語相談窓口や日本語教室の開催など引き続き必要なサポートを行うとともに、地域の皆さんを交えた懇談会を実施するなど、多文化共生社会の実現に向けた交流機会の充実を図ります。

高齢福祉の充実

- 9年度中に供用開始となる多世代交流施設を整備するとともに、世代を超えた交流や新たなコミュニティの醸



成につながる施設をめざして、具体的な利活用の方針について検討を進めます。

障がい福祉の充実

- 9年度を始期とする「第8期池田市障害福祉計画・第4期池田市障害児福祉計画」を策定し、それぞれの障がいに適した福祉サービスの提供体制の確立を図るとともに、障がいのある方の権利保障や社会参画の促進につながる新たな取り組みの実施に向けて、当事者のニーズを把握するためのアンケート調査を実施します。

保健・医療の充実

- 健康意識向上のためのイベントや介護予防の通いの場などにおける健康教育・健康相談を実施し、健康診査の受診率向上を図るとともに、慢性疾患の重症化予防事業を実施することで健康寿命の延伸、医療費の適正化を推進します。
- 胃がんの早期発見・早期治療による疾病予防につながるため、内視鏡検査において国が特に受診を推奨する年齢の方を新たに無償化することで、受診率の向上と健康寿命の延伸をめざします。

「危機への備え」の充実

- 地域防災無線の再整備に取り組み、災害時における迅速かつ的確な情報提供の確保を図るとともに、自主防災組織の育成や災害時における民間企業との連携強化に努めることで、地域防災力の向上をめざします。
- 増え続けている救急需要に安定的に対応するため、高規格救急自動車2台の更新を行うなど、引き続き救急体制の維持に努めるとともに、近隣市とのさらなる水平連携の強化を図ります。

快適な住宅・住環境づくり

- 老朽化が顕著な市営秦野住宅について、住宅ニーズを踏まえた建て替えに向けて基本設計を行います。
- 五月山緑地について、今春の開業をめざして官民連携によるカフェ・レストランの整備を行うとともに、幹線園路の



法面補強工事やハイキングコースの森林整備に努めます。

- 新たに2頭のウオンバットを迎え入れた五月山動物園について、市民や全国のウオンバットファンの皆さんの期待に応えるため、これまで以上に魅力的な動物園をめざし、9年中のリニューアルオープンに向けて引き続き整備を進めます。

道路・公共交通の充実

- 運転士不足による近年の路線バスの減便状況を踏まえ、ハローワークや近隣市と連携した就労セミナーを開催するとともに、持続可能な交通ネットワークの実現に向けて「池田市地域公共交通計画」の見直しを行います。
- 自転車用ヘルメットの購入に要する費用の補助を実施し、着用率の増加を図るとともに、交通マナーの向上をめざして周知・啓発に取り組みます。

上下水道の充実

- 安全・安心な水道水を安定して供給するため、「池田市第2次上水道施設整備計画」に基づき、重要施設に接続する管路を含めた水道管の更新、耐震化など、危機管理体制の充実と既存施設の更新を進めます。
- 将来にわたって安定的に事業を継続していくため、新たな経営戦略の策定に着手し、事業運営のあり方や適切な料金体系について検討します。

まちづくりの ま 進め方

「まちづくりの進め方」とは、
本市で取り組む全ての施策において、
意識すべき視点です。

1



SDGsの推進

- 「池田市SDGs推進プラットフォーム」の構成員を対象とした新たな補助制度を創設することで、市民やステークホルダーのSDGsへの意識を一層高めるとともに、官民連携による新たな事業の創出を推進します。

2



みんなで取り組む まちづくり

- 地域分権制度が制度開始から20年目を迎えることから、有識者による「池田市地域分権検討会議」を開催し、これまでの活動実績を検証するとともに、今後の制度のあり方について検討します。
- 公益活動の促進について、公益活動に取り組む市民に対する公益活動助成金の交付の実施や、市民活動交流センターを核とした人材育成や連携などに係るさまざまな事業を通じて、個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現していきます。

3



持続可能な 都市経営

- 職員の育成について、階層別研修を中心に計画的に研修を実施するとともに、高度専門人材による研修を実施するなど、職員のデジタルスキルやDXの実践力の向上に一層努めます。

- 公共施設のマネジメントについて、「池田市公共施設再整備事業計画」において将来的な総量削減目標を掲げるとともに、施設の集約・複合化などの手法を用いた効率的な再整備を図ります。
- 「第7次池田市総合計画」について、10年度からの後期基本計画の策定に向けて、前期計画の振り返りや今後対応すべき課題の整理などに取り組みます。